

競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の人件費支出に係る
活用実績報告書（令和7(2025)年度）

1. 実施状況

①事業名	②直接経費から人件費を支出した、所属PIの人数（人）	③所属するPIについて、直接経費から支出した人件費の総額（円）	④所属するPIについて、直接経費から人件費を支出したことにより確保した財源の総額（円）
エネルギー・環境分野の中長期的課題解決に資する新技術先導研究プログラム NEDO 先導研究プログラム(NEDO)	9	9,000,000	9,000,000
カーボンリサイクル・次世代火力発電の技術開発事業(NEDO)	1	1,130,000	1,130,000
グリーンイノベーション基金事業(NEDO)	3	12,760,000	12,760,000
バイオものづくり革命推進事業(NEDO)	1	540,000	540,000
ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業(NEDO)	3	7,370,000	7,370,000
ムーンショット型研究開発事業(AMED)	2	4,920,000	4,920,000
ムーンショット型研究開発事業(JST)	6	25,330,000	25,330,000
ムーンショット型研究開発事業(NEDO)	2	7,960,000	7,960,000
ムーンショット型農林水産研究開発事業(農業・食品産業技術総合研究機構)	1	3,460,000	3,460,000

(別添様式3)

ライフサイエンスデータベース統合推進事業（統合化推進プログラム） (JST)	1	730,000	730,000
ワクチン・新規モダリティ研究開発事業(AMED)	3	5,520,000	5,520,000
医療研究開発推進事業費補助金 医薬品等規制調和・評価研究事業(AMED)	1	600,000	600,000
医療研究開発推進事業費補助金 創薬基盤推進研究事業(AMED)	5	14,958,253	9,680,000
医療研究開発推進事業費補助金 難治性疾患実用化研究事業(AMED)	1	1,008,000	1,008,000
医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS) (AMED)	2	3,560,000	3,560,000
課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業(JSPS)	1	1,700,000	1,700,000
革新的GX技術創出事業 (GteX) (JST)	1	4,480,000	4,480,000
革新的情報通信技術 (Beyond 5G (6G)) 基金事業(NICT)	3	5,012,000	5,012,000
戦略的総合研究推進事業 革新的先端研究開発支援事業(AMED)	1	580,000	580,000
官民による若手研究者発掘支援事業(NEDO)	4	5,460,000	5,460,000
環境研究総合推進費(環境再生保全機構)	7	7,947,500	7,947,500

(別添様式3)

競争的な水素サプライチェーン構築に向けた技術開発事業(NEDO)	1	4,540,000	4,540,000
橋渡し研究プログラム(AMED)	1	860,000	860,000
経済安全保障重要技術育成プログラム(JST)	5	9,770,000	9,770,000
経済安全保障重要技術育成プログラム(NEDO)	3	3,720,000	3,720,000
研究成果展開事業 共創の場形成支援プログラム(JST)	2	7,550,000	7,550,000
研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)(JST)	4	8,230,000	8,230,000
交通運輸技術開発推進制度(国交省)	1	480,000	480,000
高効率・高速処理を可能とする AI チップ・次世代コンピューティングの技術開発(NEDO)	1	1,040,000	1,040,000
国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業(文科省)	1	1,720,000	1,720,000
国家課題対応型研究開発推進事業 光・量子飛躍フラッグシッププログラム(Q-LEAP)(文科省)	1	2,260,000	2,260,000
国家課題対応型研究開発推進事業 再生・細胞医療・遺伝子治療実現加速化プログラム(AMED)	3	6,800,000	6,800,000

(別添様式3)

国家課題対応型研究開発 推進事業 脳神経科学統 合プログラム（個別重点 研究課題）(AMED)	4	6,810,000	6,810,000
国際科学技術共同研究推 進事業 戦略的国際共同 研究プログラム (SICORP) (JST)	2	1,940,000	1,940,000
国際科学技術共同研究推 進事業 地球規模課題対 応国際科学技術協力プロ グラム (SATREPS) (JST)	1	1,440,000	1,440,000
再生医療等実用化基盤整 備促進事業(AMED)	1	600,000	600,000
次世代がん医療加速化研 究事業 (AMED)	5	16,805,057	1,740,000
次世代治療・診断実現の ための創薬基盤技術開発 事業(AMED)	2	6,040,000	6,040,000
新興・再興感染症研究基 盤創生事業(AMED)	1	2,260,000	2,260,000
先導研究・懸賞金型事業 新産業・革新技術創出に 向けた先導研究プログラ ム(NEDO)	1	970,000	970,000
水素利用拡大に向けた共 通基盤強化のための研究 開発事業(NEDO)	6	5,759,737	5,759,737
先端国際共同研究推進事 業／プログラム (ASPIRE) (AMED)	3	4,870,000	4,870,000
先端国際共同研究推進事 業／プログラム (ASPIRE) (JST)	20	24,720,000	24,720,000

(別添様式3)

戦略的創造研究推進事業 ACT-X（個人型研究） （JST）	8	1, 200, 000	1, 200, 000
戦略的創造研究推進事業 CREST（チーム型研究） （JST）	38	115, 136, 000	115, 136, 000
戦略的創造研究推進事業 ERATO（総括実施型） （JST）	8	40, 310, 000	40, 310, 000
戦略的創造研究推進事業 さきがけ（個人型研究） （JST）	48	44, 410, 810	44, 410, 810
戦略的創造研究推進事業 革新的先端研究開発支援 事業(AMED)	9	19, 490, 000	19, 490, 000
戦略的創造研究推進事業 先端的カーボンニュート ラル技術開発（ALCA- Next）（JST）	8	15, 310, 000	15, 310, 000
戦略的創造研究推進事業 （AIP 加速課題）（JST）	1	1, 000, 000	1, 000, 000
戦略的創造研究推進事業 （CRONOS）（JST）	2	4, 060, 000	4, 060, 000
創発的研究支援事業(JST)	67	44, 200, 000	44, 200, 000
創薬基盤推進研究事業 （AMED）	1	260, 000	260, 000
大学発新産業創出基金事 業(JST)	2	8, 340, 000	8, 340, 000
日 ASEAN 科学技術・イノ ベーション協働連携事業 （NEXUS）（JST）	3	2, 300, 000	2, 300, 000
認知症研究開発事業 （AMED）	1	3, 460, 000	3, 460, 000
未来社会創造事業 大規 模プロジェクト型(JST)	2	8, 060, 000	8, 060, 000

(別添様式3)

未来社会創造事業 探索 加速型(JST)	4	9,310,000	9,310,000
免疫アレルギー疾患実用 化研究事業(AMED)	1	860,000	860,000
建設技術研究開発助成制 度(国交省)	1	500,000	500,000
ゲノム創薬基盤推進研究 事業(AMED)	1	760,000	760,000
宇宙戦略基金事業(JAXA)	1	2,870,000	2,870,000
スマート農業技術の開 発・供給に関する事業(農 業・食品産業技術総合研 究機構)	2	2,210,000	2,210,000
次世代ヘルステック・ス タートアップ育成支援事 業(AMED)	1	1,720,000	1,720,000
合計	336	568,977,357	548,634,047

2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

(研究代表者等への研究力強化策)

- ・研究代表者等へ研究代表者等特別手当の支給及びインセンティブとなる経費の配分を行うことにより、研究代表者等の研究力強化に寄与した。

(本部が講じた研究力強化に係る施策)

- ・大学運営費等の他財源と一体的に活用し、東京大学卓越研究員の人件費等に充当することにより、若手研究者の育成・雇用支援を行った。

(研究代表者等の所属する部局が講じた研究力強化に係る施策)

- ・若手研究者の雇用安定策として教員人件費の一部に充てることにより研究力強化を図った。

- ・研究環境の整備に用い、施設の整備・保全等を行った。

- ・間接経費と一体的に活用し、光熱水費に使用することにより研究環境の整備を行った。

- ・リサーチ・アシスタントの財源として間接経費と一体的に活用し、博士課程学生支援の強化を行った。

- ・研究者代表者に対して、当該研究の応用に係る研究費として配分し、当該研究者の継続的な挑戦を支援することにより、研究成果の更なる発展に寄与した。

- ・シンポジウムの開催や国際会議等への参加を支援し、学内外との連携を推進した。

3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

(https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/research/systems-data/pi_jinkenhi.html)